

スライド 1

しんがた かんせんしょう
新型コロナウイルス感染症

いま、なにがたいせつなの？

ニュースで、毎日のように新型コロナウイルス感染症のことが話題となっています。昨日の愛知県の新型コロナウイルス感染者数は0人でした。

さあ、感染者が増えている中、今なにが大切なのでしょう。

スライド 2

かいめ
4回目の
しんがた かんせんしょう
新型コロナウイルス感染症

きんきゅうじたいせんげん
緊急事態宣言！！

8月27日から9月12日まで



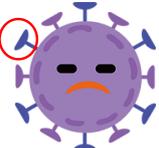
現在、みなさんの住んでいる愛知県では、8月27日から9月12日まで4回目の緊急事態宣言が発令されています。

今日は、緊急事態宣言が出ているこの時期に、みなさんが何に気をつけたらよいかお話ししたいと思います。

スライド 3

ウイルスの型 かた **デルタ株** かぶ

いま ちから ばいじょう
今までのタイプとちがって、かんせんする力が2倍以上

くっつきやすい → 

くっつき虫 

まず、なぜこんなに感染者の数が増えてしまったのかをお話しします。

新型コロナウイルス感染症は、目には見えないとても小さなウイルスによって広まっています。ウイルスにもいろいろな種類がありますが、今、日本をはじめ全世界ではやっているのは「デルタ株」というウイルスです。この「デルタ株」というウイルスは、くっつきやすく、植物の「くっつき虫」に例えられています。このウイルスの周りのとげが、とてもくっつく力が強いウイルスなのです。人にくっつく力が今までのウイルスの2倍で、感染する力も2倍以上だといわれています。

スライド 4

ウイルスがつかないように、
よぼうがたいせつです！！

このくっつきやすい「デルタ株」がはやっている今、
ウイルスがつかないように、しっかりとした予防が大切です。

スライド 5

よぼう1
マスクを正しくつける



予防1。
くっつきやすいウイルスをつけないためにも、まず、マスクを正しくつけることが大切です。

スライド 6

マスクをつけるのは？



ウイルスが口や鼻から入らないようにする

ウイルスが外に出ないようにする

じぶんをまもる

まわりの人をまもる

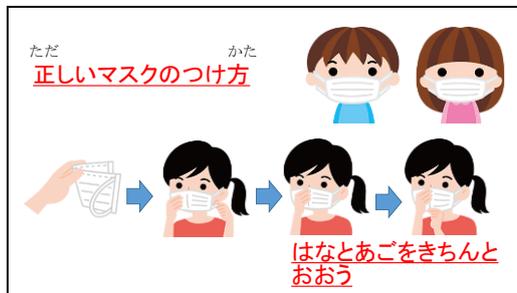
その前に、なぜマスクをつけるのでしょうか。まず、マスクをつけるのは、ウイルスが口や鼻から入らないようにして、自分の体を守るためです。そして、第2にマスクをつけるのは、万が一、知らないうちに自分自身がすでにコロナに感染している場合、ウイルスが自分自身から外に出ないようにして、周りの人を守ることができるのです。自分の体を守るため、周りの人の体をまもるため、マスクをつけることは必要なのです。

スライド 7



マスクにも様々な種類があります。感染症に比較的効果があるといわれているマスクは、「不織布のマスク」です。しかし、この不織布のマスクは、使い捨てで、値段も高いです。なかなか毎日つけることは難しい場合があります。その場合は、ウレタンマスクや布マスクでも、毎日きちんと洗濯してもらって、清潔なマスクをつけましょう。

スライド 8



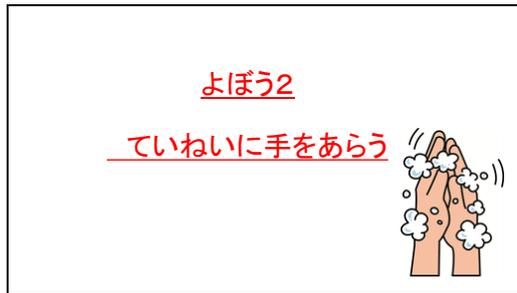
また、正しいマスクのつけ方を確認します。まず、マスクは普段から内側を中にして、半分に折っておきます。最初にゴムの部分を耳にかけます。次に、鼻をきちんとマスクで覆います。不織布のマスクはここで鼻の形を整えます。その後、あごまできちんとマスクでおおいます。最後に、鼻とあごがきちんと覆われていることを確認します。時々、マスクがずれて、鼻や口がマスクから出ている人もいますので、気をつけましょう。

スライド 9



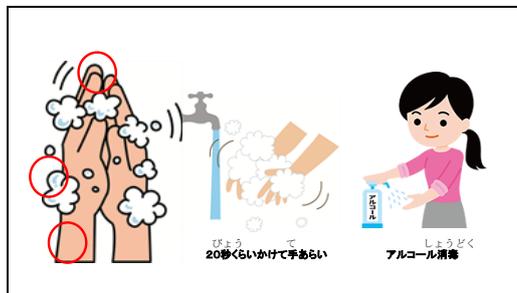
それでも、給食の時や体育の授業で大変暑くなった時はマスクを外すこともあります。その時は、特に注意しましょう。給食を食べ終わったら、すぐにマスクをつけましょう。また、大変暑くなりマスクをはずす場合はともだちとの距離を十分とりましょう。だいたいお互いに両手をひろげたくらい距離をとることとよいでしょう。

スライド 10



つぎに、予防2。
いつもよりていねいに手を洗うことが大切です。

スライド 11



手洗い場の緑色のアルボースという石けん液を使って、しっかり泡をたてて、20秒くらい時間をかけて、ていねいに洗いましょう。

泡をたてて手洗いをすることは、ウイルスを洗い流すことに、とても効果があります。手首、手の甲、爪の間は洗い残しが多いところですので、特に気をつけて洗いましょう。また、手洗いの後にアルコール消毒液を使うことは、ウイルスをやっつけることに効果があります。

手に傷がない人、アルコールで手が赤くなる心配がない人は、アルコール消毒薬を使いましょう。

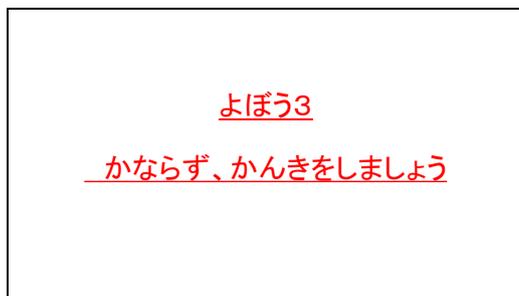
スライド 12



手洗いのタイミングは、
運動場から校舎の中に入るとき、
トイレへ行った後、
給食を食べる前、
せきやくしゃみをした後、
その他にも、

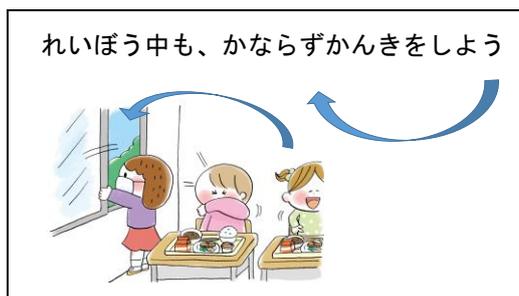
そうじをした後、みんなが使った物を使っ
た後です。そうじをした後や、図書室や
音楽室や体育館を利用した後で、手を
洗うことを忘れてしまうこともあるので気
をつけましょう。

スライド 13



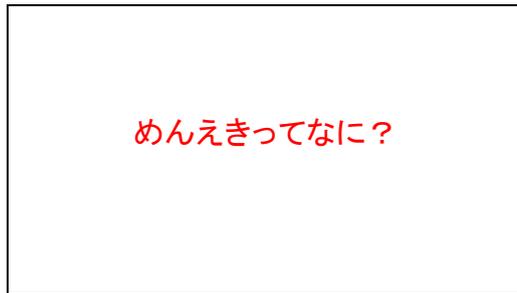
予防3。
必ず、教室は換気をしましょう。

スライド 14



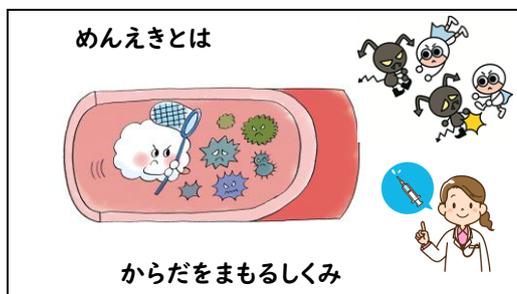
まだまだ、暑い日が続いています。
クーラーがついているときも、空気が通
りやすいように、必ず教室の2カ所を開
けておきましょう。
教室の中に、決してウイルスがいる状態
にならないように、気をつけていきましょ
う。

スライド 15



少し話が変わりませが、「めんえき」という言葉をきたことがありますか？

スライド 16



免疫とは、外からやってきた細菌やウイルスから、からだを守る仕組みのことです。血液の中の白血球のように、もともとからだの中にいて、細菌やウイルスがからだに入ったときにそれらをやっつけてくれるものです。また、新型コロナウイルス感染症の予防接種を打つことで、外から、この「めんえき」を手に入れることもできます。

スライド 17



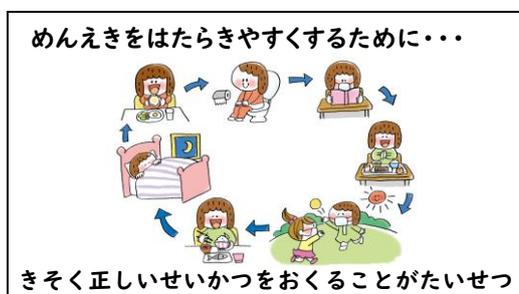
自分の体の中の免疫を働きやすくするために、栄養が必要です。好き嫌いなく、肉や魚、野菜や果物など何でもしっかり食べるようにしましょう。

スライド 18



また、免疫を働きやすくするために、早寝・早起きに心がけて、しっかりすいみんをとるようにしましょう。

スライド 19



先日、夏休み中の宿題の「夏休み生活習慣チェックカード」を見せてもらいました。たくさんの方が、自分の寝る時間・起きる時間・テレビを観る時間・運動について振り返り、自分の健康について考えることができました。

さあ、2学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症の予防を考えながら、きそく正しい生活ができるよう、気をつけていきましょう。

スライド 20



最後に、大切なお願いがあります。私たちは、毎日色々な人に支えられて助けられて生活しています。人と関わりながら生活していく中で、どんなに予防していても新型コロナウイルス感染症にかかってしまうこともあります。それは、先生だろうが、みなさんだろうが、みんな同じです。でも、感染してしまった人が出てしまっても、決してその人に対して、冷たい態度をとったり、冷たい言葉をかけてしまわないようにしましょう。



物事には始まりがあって、必ず終わりもあります。新型コロナウイルス感染症にも、きっと終わりが見えてくると思います。そんな日が来る日を願いながら、みんなで予防を気をつけながら、マスクの下はいつもにっこり笑顔で、過ごしていきましょう。